

授業科目	* 栄養治療学 I (B クラス)				単位	2		
履 修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT21802J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	花田 浩和							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>医療機関に従事する管理栄養士は、栄養サポートチームの一員として栄養管理を担う。適切な栄養管理は、治療の促進、合併症発現の抑制、入院期間の短縮、ひいては、医療費の削減に繋がることになり、重要な業務といえる。</p> <p>本科目では、傷病者の病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理を行うために、各疾患の成因・病態、治療法ならびに具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。各疾患における栄養食事療法の意義と目的、栄養アセスメント法、栄養ケア計画の作成、栄養ケア実施後のモニタリング法ならびに栄養ケアの評価法について解説する。医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解することで、国民の健康維持・疾病からの回復に大きな役割を期待されていることを認識し、管理栄養士としての資質を身につけることを目標とする。</p> <p>この授業は遠隔授業として実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養スクリーニング・栄養アセスメントの意義および方法を理解し、説明できる。</li> <li>2. 栄養補給法の種類、特徴および適応疾患を列挙できる。</li> <li>3. 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。</li> <li>4. 各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。</li> <li>5. 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。</li> <li>6. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。</li> <li>7. 各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	50						50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30						30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	5						5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	5						5	
態度(DP4-2)	5						5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	5						5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1~7 の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、修得した知識を応用して、さまざまな疾患の栄養管理方法を具体的に提示できる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養スクリーニング・栄養アセスメントの意義および方法を理解し、説明できる。</li> <li>2. 栄養補給法の種類、特徴および適応疾患を列挙できる。</li> <li>3. 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。</li> </ol>				

			4. 各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。 5. 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。 6. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。 7. 各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: 臨床における栄養ケアと栄養アセスメント 臨床栄養学の意義と目的、医療と福祉・介護の領域との関連、栄養スクリーニングの具体的手法、栄養アセスメントの概要について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 臨床における栄養ケアと栄養アセスメントについて整理し、理解する。	30 30
2	テーマ: 栄養ケアの計画、実施、評価、記録 栄養ケアの標準的な実践方法の流れとその内容について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 栄養ケアの計画等について整理し、理解する。	30 30
3	テーマ: 医薬品と栄養・食物の相互作用 栄養・食物が医薬品に及ぼす影響について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 医薬品と栄養・食物の相互作用について整理し、理解する。	30 30
4	テーマ: 栄養補給法 1 栄養補給法の概要、経口栄養補給法の種類、分類、特徴について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 栄養補給法の概要、経口栄養補給法について整理し、理解する。	30 30
5	テーマ: 栄養補給法 2 経腸栄養補給法の種類、分類、特徴について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 経腸栄養補給法について整理し、理解する。	30 30
6	テーマ: 栄養補給法 3 経静脈栄養補給法の種類、分類、特徴について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 経静脈栄養補給法について整理し、理解する。	30 30
7	テーマ: 生活習慣病概説 肥満症、メタボリックシンドロームの病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 生活習慣病(肥満症・メタボリックシンドローム)の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
8	テーマ: 代謝性疾患 1 糖尿病の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 糖尿病の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
9	テーマ: 代謝性疾患 2 糖尿病の病態と栄養ケア、糖尿病の食品交換表の使用法について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 糖尿病の病態と栄養ケアおよび糖尿病の食品交換表の使用法について整理し、理解する。	30 30

10	テーマ:代謝性疾患 3 脂質異常症の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:脂質異常症の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
11	テーマ:代謝性疾患 4 高尿酸血症の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:高尿酸血症の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
12	テーマ:代謝性疾患 5 先天性代謝異常症、内分泌疾患の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:先天性代謝異常症、内分泌疾患の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
13	テーマ:消化器疾患 1<口腔・食道・胃> 口腔疾患、食道疾患、胃・十二指腸潰瘍の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:口腔・食道・胃における消化器疾患の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
14	テーマ:まとめ 講義内容全体のまとめを行う。	講義	予習:講義全体を見直し、試験の準備をする。 復習:なし	60 0
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	疾患の成因・病態および治療法に関する知識を必要とする。
テキスト	吉田勉監修:「わかりやすい臨床栄養学」(三共出版) 奈良信雄著:「看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック」(医歯薬出版) 日本糖尿病学会編:「糖尿病食事療法のための食品交換表(第7版)」(文光堂)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、資料を配付する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	栄養治療学はこれまで学んできた「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」等を基に、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識を学ぶものです。これらの科目を復習するとともに、シラバスを参照し、次回の講義内容について、予習して授業に臨んでください。
達成度評価に関するコメント	成績評価として、試験を実施する。 詳細については、授業の中で説明する。